

2月27日（金）、11名の委員の方々と幸手市教育委員会学校教育課中沢課長にご出席いただき、今年度第4回の学校運営協議会を開催しました。

今回は、令和7年度学校評価、令和8年度の経営方針、年間行事計画、学校予算・諸会費集金内容、についてご報告し、「児童のあいさつ」について、熟議を行い、委員の皆様からご意見をいただきました。

学校からの報告事項

1 学校評価の結果について

2学期に、児童・保護者・教職員を対象に行った「学校の教育活動に関するアンケート」の結果について報告しました。概ね肯定的な評価でありましたが、特に、保護者と教職員とで共に否定的な評価が多かったのは、それぞれ「地域や学校に貢献しているか」の項目でありました。

2 令和8年度の経営方針

教育目標やめざす児童像は現行のものを継続していきます。信頼される教師、保護者から信頼される教育、地域から信頼される学校となるにはコミュニケーションが大事、笑顔とあいさつがあふれるさくら小を目指します。

10月に幸手市防災訓練がありますので、子供たち自身にも防災を考える機会にしたいと考えています。

3 令和8年度の年間行事計画について

主だった行事を中心に説明しました。

特に10月には、市制40周年事業、幸手市防災訓練という大きな行事が予定されている関係もあり、運動会は10月17日を予定しています。

4 令和8年度の予算及び諸会費集金内容について

令和8年度予算について、要求額及び内容を市からの内示の状況を踏まえて説明しました。学校徴収金については、来年度給食費が無償化となるため、集金の金額及び回数の変更を予定しています。

5 令和8年度の学校運営協議会について

令和8年度も今年度と同時期での開催を予定しています。

任期の関係で、岡野委員がご退任となりました。また、他の委員の皆様に来年度のご意向について、書面での回答をお願いしました。

熟議：「児童のあいさつについて」

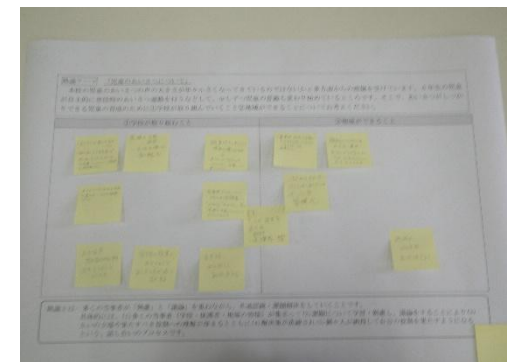


本校児童のあいさつが年々小さくなっていくとの多方面からのご指摘を受け、あいさつがしっかりできる児童を育成するために

- ① 学校が取り組んでいくこと
 - ② 地域ができること
- について、3グループに分かれて熟議を行いました。

- ① あいさつの大切さや意味を知識として教える。
- ② 実践し、習慣として続けていく。

あいさつの重要性は間違いない。
あいさつができれば、評価してあげたり、指導してあげたりすることも大切である。



- ① 会社の研修でやるように、4～5人で1組になって、声を出す訓練を行ったらどうか。1番目に声が出る人を選んで声を出す訓練を行うと2番目、3番目も同じように声を出すようになる。
- ② 親から率先してあいさつをする。コミュニケーションをとり、顔や名前を覚える。

- ① 習字など文字で訴えろとか、「ありがとう」という言葉を使える環境を作る。
- ② 大人から声をかけ、あいさつができれば褒める。
見守り隊からも声をかけていただく。
言われてうれしいこと、「ありがとう」「やったね」などが言えるよう癖をつけるといいと思う。

